

気候情報

2013年7月の日本の天候

- 全国的に月の前半は高温，西日本では月を通してかなりの高温
- 東北地方で大雨・長雨・日照不足
- 山口県・島根県などで局地的な豪雨
- 西日本，沖縄・奄美では少雨・多照

7月の天気概況

月を通して梅雨前線が日本海から東北地方に停滞することが多く，太平洋高気圧は西日本を中心に張り出した。このため，西日本では，晴れの日が多かったが，月の初めと終わり頃に曇りや雨となり，28日には山口県や島根県では豪雨となった。東日本太平洋側では，晴れの日が多かったが，上旬の前半と下旬は曇りや雨となった。北海道では北海道の東海上の高気圧に覆われて晴れの日が多く，降水量が少なかった。一方，東北地方と東日本日本海側では，曇りや雨の日が多くなり，東北地方の降水量は平年の182%となり1946年以降で7月としては最も多く，日照時間もかなり少なかった。沖縄・奄美では，日照時間がかなり多く，名瀬や久米島では月降水量が0mmとなるなど少雨となった。気温は月の前半は，南からの暖かい空気の影響で全国的に高温となり，優勢な太平洋高気圧に覆われた東日本以西では強い日射の影響も加わって猛暑日となった所が多かった。西日本ではその後も高温が続き，月を通してかなりの高温となったが，北・東日本では月の後半は晴れの日が少なく，東北地方を中心に平年を下回った所があった。

上旬：太平洋高気圧が日本の東海上から日本の南海上に張り出し，梅雨前線は日本海から東北地方に停滞した。東日本太平洋側と西日本では旬の前半は，気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く，局地的な大雨となった日があったが，旬の後半は晴れの日が多かった。一方，北日本と東日本日本海側では，梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。なお，奄美地方では1日頃，関東甲信地方では6日頃，九州南部，九州北部，四国，中国，近畿，東海地方では8日頃に梅雨明けした（速報値）。

中旬：西日本を中心に太平洋高気圧の勢力が強く，北海道も高気圧に覆われた。一方，梅雨前線が日本海から東北地方付近に停滞し，旬の初めは台風第7号が先島諸島付近を通過した。このため，北海道と東日本太平洋側から西日本にかけては晴れの日が多く，旬の前半を中心に猛暑日の所があった。一方，東北地方から東日本日本海側では，曇りや雨の日が多く，東北日本海側を中心に広い範囲で大雨となった。沖縄・奄美では晴れの日が多かったが，12～13日は台風第7号の影響で，八重山地方で暴風雨となった。

下旬：太平洋高気圧が沖縄・奄美付近を中心に張り出し，梅雨前線が日本海に停滞した。このため，北・

東日本では曇りや雨の日が多く，東北地方や北陸地方を中心に大雨となったのをはじめ，雷を伴って短時間に記録的な大雨となった所があった。また，西日本では旬の前半は晴れの日が多く猛暑日となった所があったが，旬の後半は曇りや雨の日が多く，28日は山口県と島根県では平年の7月の月降水量を上回る記録的な豪雨となった。

7月の気候統計

月平均気温：西日本でかなり高く，北・東日本，沖縄・奄美で高かった。

月降水量：西日本太平洋側でかなり少なく，東日本太平洋側，西日本日本海側，沖縄・奄美で少なかった。一方，北・東日本日本海側で多かった。北日本太平洋側では平年並だった。

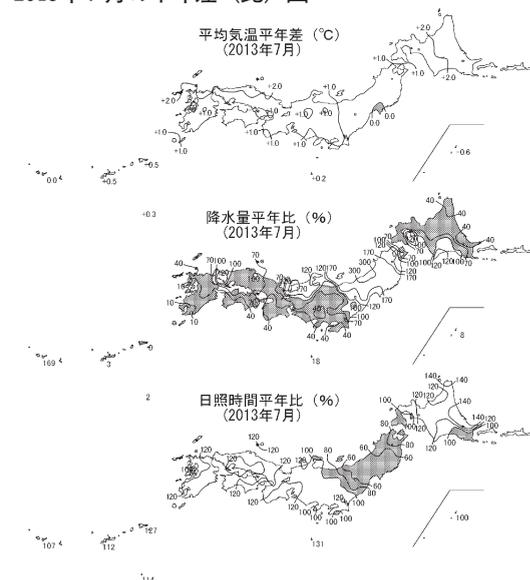
月間日照時間：沖縄・奄美でかなり多く，西日本で多かった。北・東日本では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

7月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温の高い方から（℃）
米子 28.3 浜田 27.5 萩 28.0 福岡 30.0
など9地点
- ・月降水量の多い方から（mm）
盛岡 461.0 秋田 543.0 山形 386.0 など6地点
- ・月降水量の少ない方から（mm）
鹿児島 16.5 名瀬 0.0 那覇 4.5 など11地点
- ・月間日照時間の多い方から（時間）
沖永良部 327.6

2013年7月の平年差（比）図



注）陰影の部分は，平年より低い（少ない）地域を示す。